



ニワトリのとさかは、^{なん}何のためにあるの

メスを^ひ引きつけるかざり

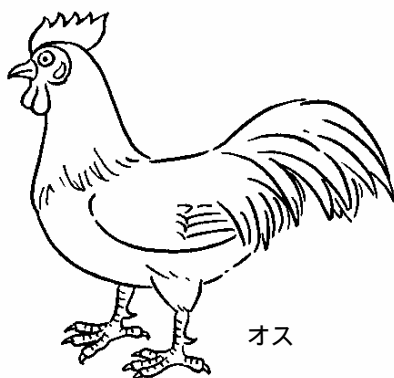
ニワトリには、^{あか}赤い色^{いろ}のとさかがあり、とても^{めだ}目立ちます。オスは、^{にく}ほほの肉^{だれも}だれも、^{おお}大きくて^ま真っ赤^かで、^{ばね}お羽^{もり}もりっぱです。メスは、^{ちい}どちらも^{めだ}小さく^{おお}目立ち^なませ^なせん。大きな^な鳴き声^{ごえ}とともに、^{じぶん}これらは^{つよ}オスが、^{けんこう}自分が^{けんこう}強く健康なオスであることを、^{しめ}メスに示しているのです。

ニワトリのとさかが^{おお}大きくなるわけ

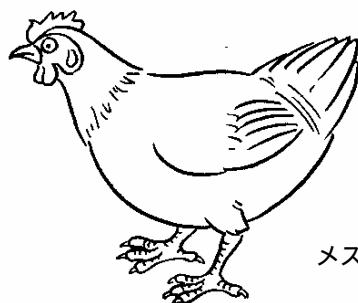
オスの^{せいそう}精巣^{つく}で作られる^{ホルモン}ホルモン(テストステロン)が、^{おお}とさかを大きくしています。オスの^{せいそう}ニワトリの精巣を、^とおとなの鳥^{まへ}になる^と前に^と取る(去勢といひます)と、^{はったつ}とさかは^は発達^つしません。見^みかけが、メスのようなオスになります。

^{ちょうるい}鳥類^{ばね}のかざり羽

^{とり}鳥のオスは、^きたいてい、^{うつく}はんしょく^{はね}期には^{めだ}メスを^{めだ}ひき^{めだ}つける^{めだ}ため、^{うつく}美しい^{はね}羽が^{めだ}目立つ^{めだ}ようになります。さらに、^{まへ}メスの^{たまご}前で^うダンスを^すしたり、^すメスに^{たまご}卵を^す産んで^すもらう^{つく}巣^{つく}を作り、^すその^す巣をかざり^すたてたり、^{とり}鳥の^{しゆるい}種類^きごとに^{ほうほう}ちがう^き方法で、^きメスの^き気を^きひきます。オシドリ^きの^きオスの^きかざり^き羽、^きクジャク^きの^き羽^きなどが、^き身近^きに見^きられる^き例^きです。(監修・今泉 忠明)



オス



メス

